桧家オリジナルキッチン カップボード

取扱説明書

このたびは、システムキッチンをお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。

システムキッチンを正しくお使いいただくために、ご使用になる前に本説明書をよく読んで正しくお使いください。

このシステムキッチンは、一般住宅用の製品ですので業務用には使用しないでください。お読みになったあとは必ず大切に保管してください。

保証書付

もくじ

■1. 安全上のご注意 . . . . . 2〜3
■2. 各部のなまえ . . . . . 4〜7
■3. ワークトップ・カウンター. . . . . 8〜9
■4. シンクまわり（シンク・排水トラップ）. . 10〜13
■5. キャビネット（キャビネット・引き出し）. . . 14〜19
■6. 扉・パネル. . . . . 20〜22
■7. 家電収納 23
■8. キッチンパネル 24
■9. こんなときには ?! 25
■10. アフターサービス 26

1 安全上のご注意［必ずお守りください］

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明します。

⚠ 警 告	この表示の欄は「取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うことが想定される危害の程度」をいう。
⚠ 注 意	この表示の欄は「取り扱いを誤った場合、使用者が軽傷を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害、損害の程度」をいう。

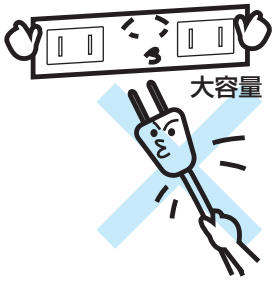
■お守りいただく内容の種類を、次の図記号で区分し、説明します。

この図記号は、製品の取り扱いにおいて、その行為を禁止するものです。	この図記号は、製品の取り扱いにおいて、指示に基づく行為を強制するものです。

⚠ 警 告

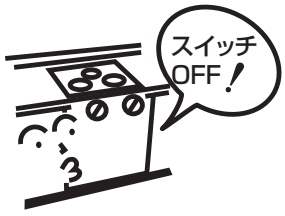
電源コンセントの表示容量（ワット）をこえる電気器具は使わないでください

たこ足配線などで容量をこえて使用すると電源コンセント部が発熱し、火災の恐れがあります。



加熱機器の使用後やお出かけのときは、スイッチが「切」になっていることを確かめる

周囲の可燃物に着火し、火災の原因になることがあります。

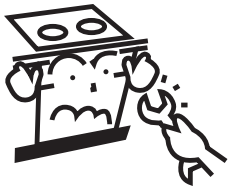


加熱機器の上や周りには燃える物を絶対に置かない

スイッチの切り忘れなどにより着火し、火災の原因になることがあります。

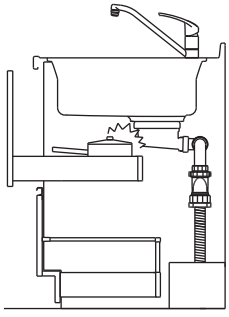
絶対に分解・修理は行わない

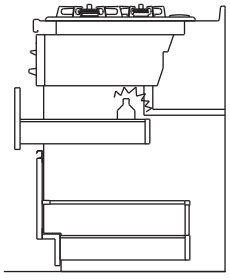
ケガや故障、事故の原因となります。
修理は購入店へご相談ください。



引き出しに収納する際は、収納物がガス管や給排水の配管に干渉しないよう注意してください

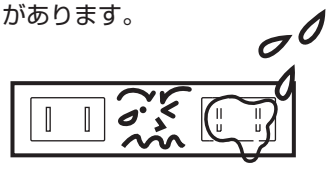
収納物と配管が接触し、ガス漏れ・水漏れや破損の原因になります。





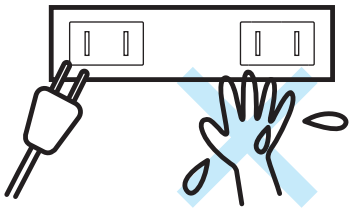
コンセントをぬらさない

感電や火災の原因になることがあります。



濡れた手でコンセントや電源プラグに触れない

感電の恐れがあります。



⚠ 警 告

キッチンに組み込まれる機器・水栓金具などについては、それぞれの機器に添付されている取扱説明書および製品本体に表示されている事項を守る

使い方を誤ると、思わぬ事故や、故障の原因となる恐れがあります。特に長期間不在にする場合は、ガスの元栓の確認などをしっかり行ってください。
IHクッキングヒーターでは材質や底の形状などによって、使える鍋と使えない鍋があります。新しく購入するときは、財団法人「製品安全協会」のSGマーク SG IH SG CH·IH のある鍋、またはあっせん鍋をおすすめします。

※保証期間、内容についても各機器についている保証書をご確認ください。

⚠ 注 意

塩素系洗浄剤・漂白剤は、使ったり、近づけたりしない

水や湿気に反応して発生するガスが、ステンレス等の金属やゴムを腐食・劣化し漏水の原因になります。保管の場所や方法に充分注意してください。その他の洗浄剤・漂白剤は使用上の注意をよく読んでお使いください。

混合水栓を使用するときは、必ず水を先に出してください

水栓および熱湯でやけどをする恐れがあります。
特に小さいお子様のいるご家庭ではご注意ください。

加熱機器の使用中、使用直後は、加熱機器周辺に手をふれないでください

加熱機器周辺の表面温度が高くなっているので、やけどの恐れがあります。

台所で使われる洗剤・殺虫剤・防腐剤・その他の薬品類それぞれの、容器などに表示されている注意事項を必ずご覧ください

使い方を誤ると、人体に悪影響を及ぼしたり、キッチン本体や機器が傷み、水漏れ事故や、故障の原因となることがあります。

棚板の棚受けダボは、確実にセットしてください
棚板には、転がりやすい物や重い物を載せないでください

棚板がたわんだり、落下する恐れがあります。
各部材の耐荷重については
17ページを参照ください。

扉が傾いたり、ガタついているときは、蝶番のビスを締めなおしてください

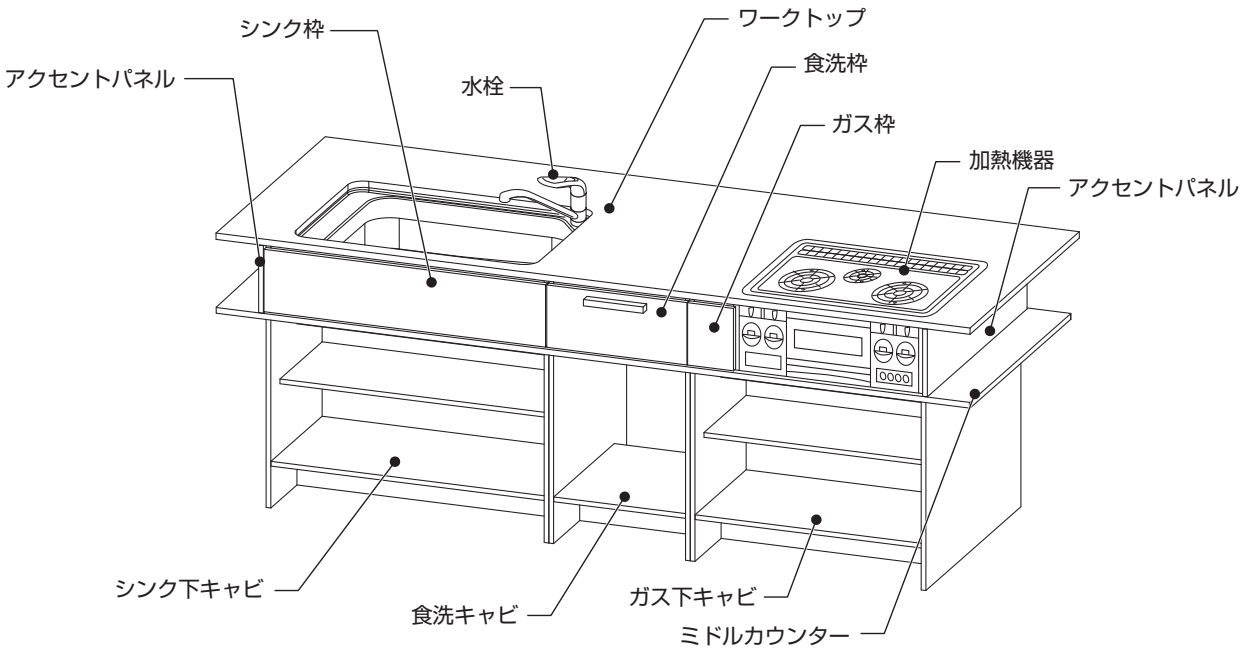
扉が落ちて、ケガをする恐れがあります。
22ページのビスㇱㇺをしっかり固定してください。

2 各部のなまえ

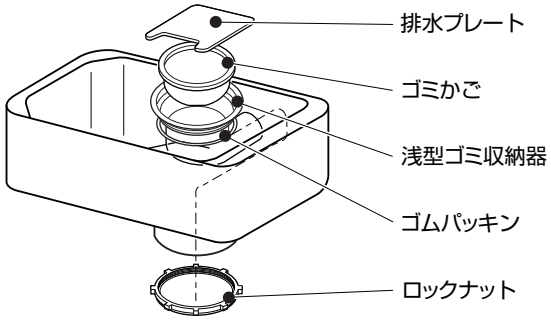
【プラン例・外観図】

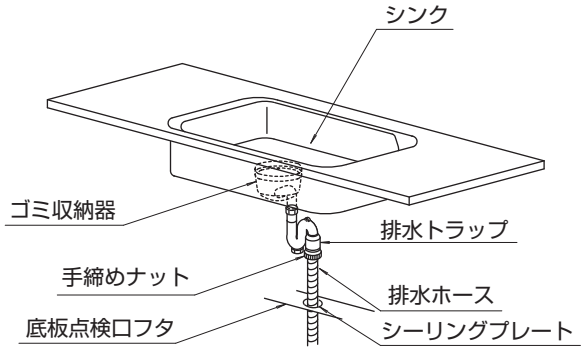
キッチン

アイランド型



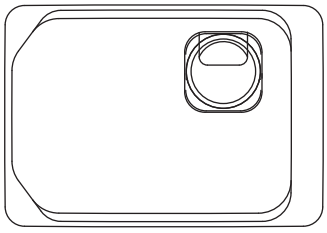
シンク分解図





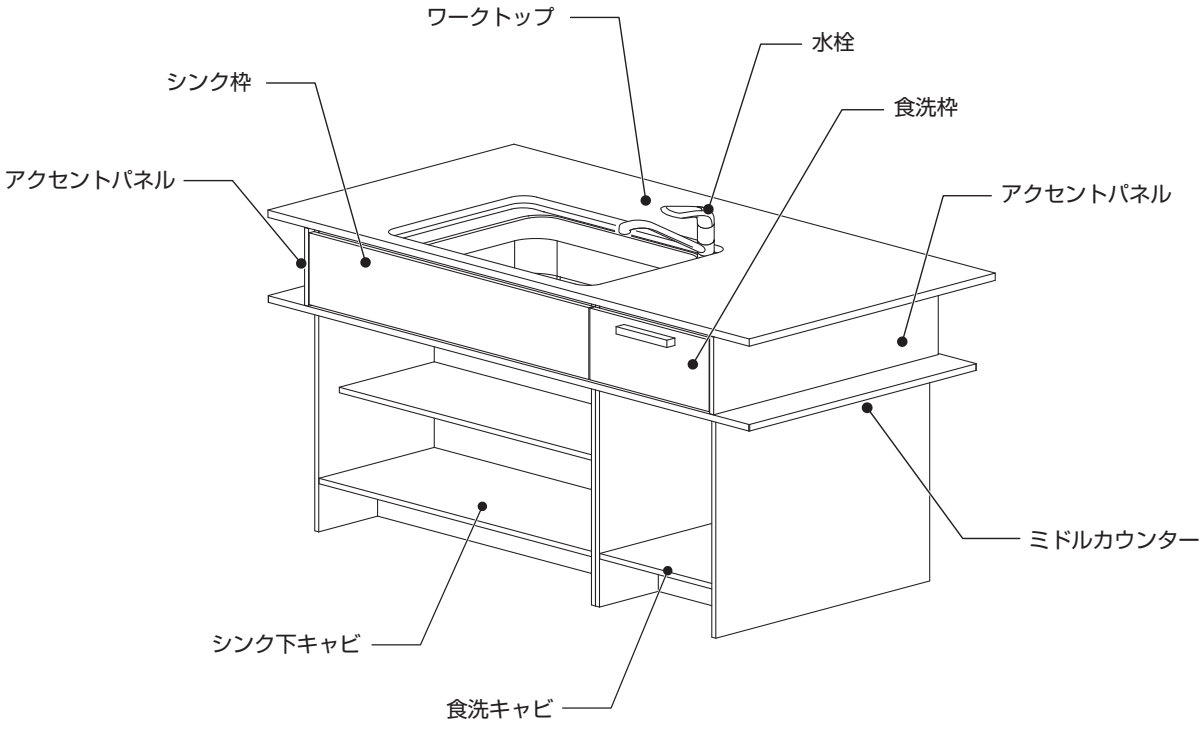
シンク形状

Vシンク
(スリーレイヤードシンク)

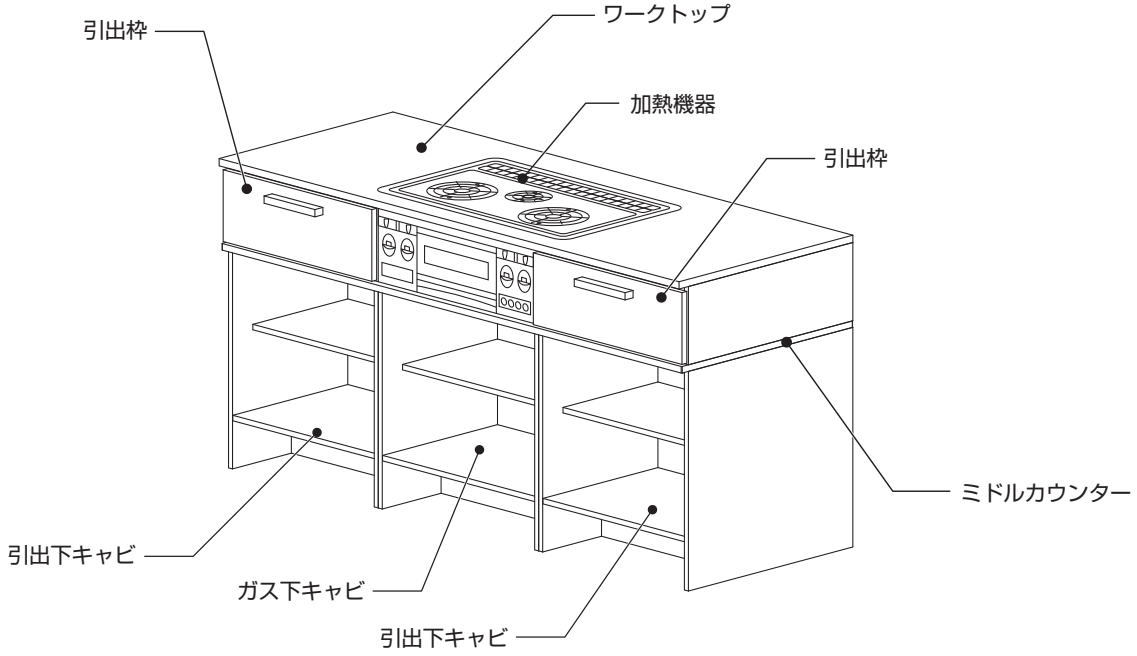


II型

シンク側

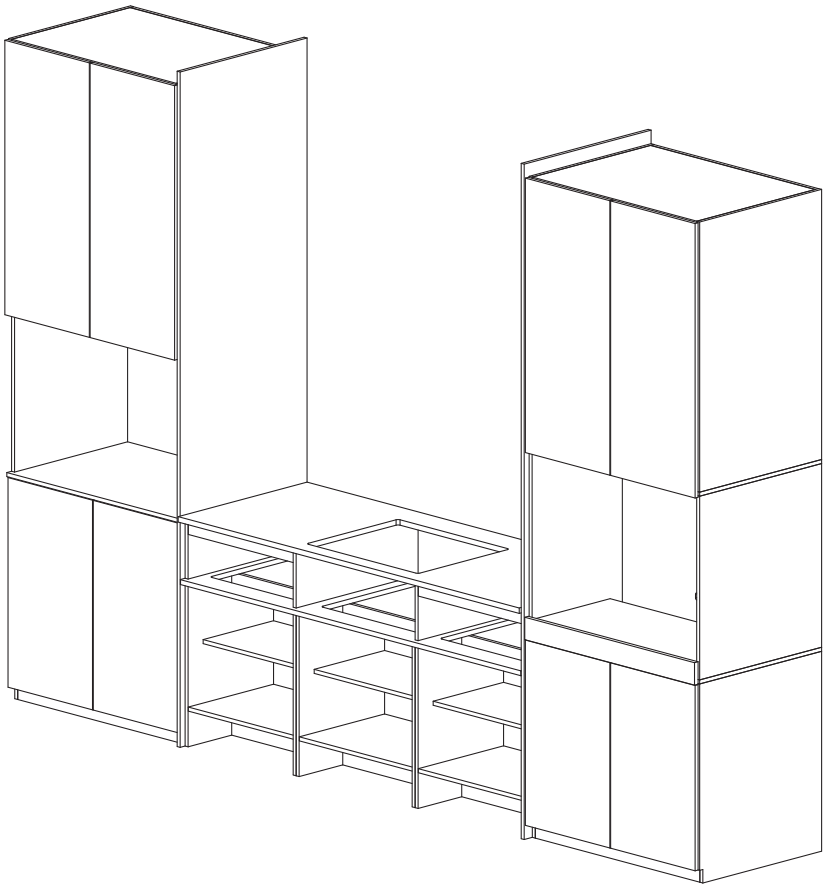

ワークトップ
水栓
シンク枠
食洗枠
アクセントパネル
アクセントパネル
ミドルカウンター
シンク下キャビ
食洗キャビ

ガ ス 側

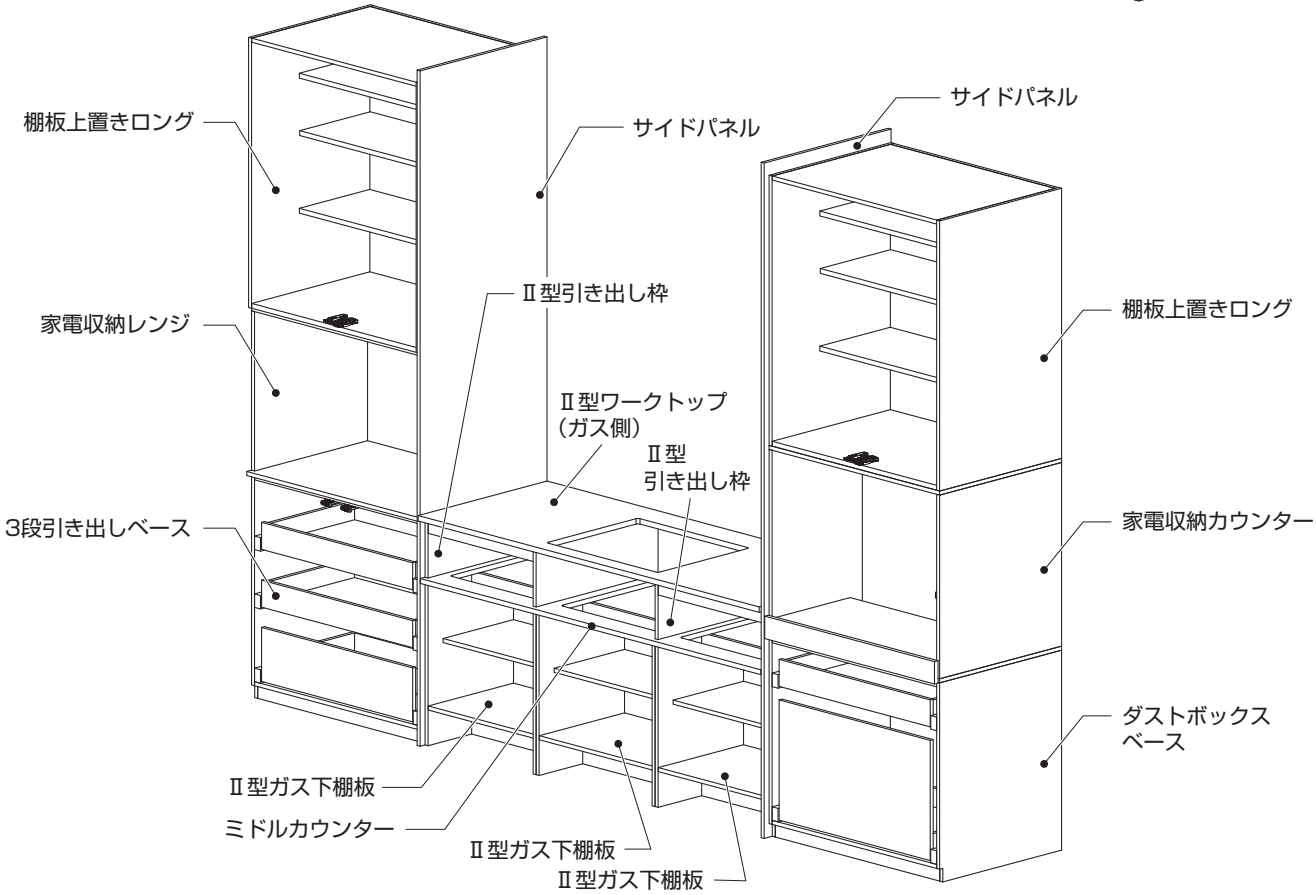

引出枠
ワークトップ
加熱機器
引出枠
ミドルカウンター
引出下キャビ
ガス下キャビ
引出下キャビ

カップボード

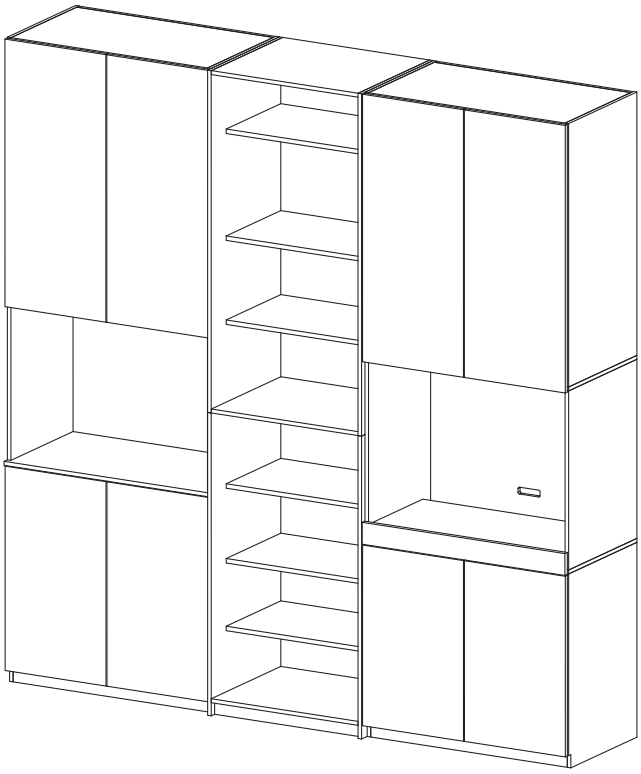
Ⅱ型プラン例・製品外観図



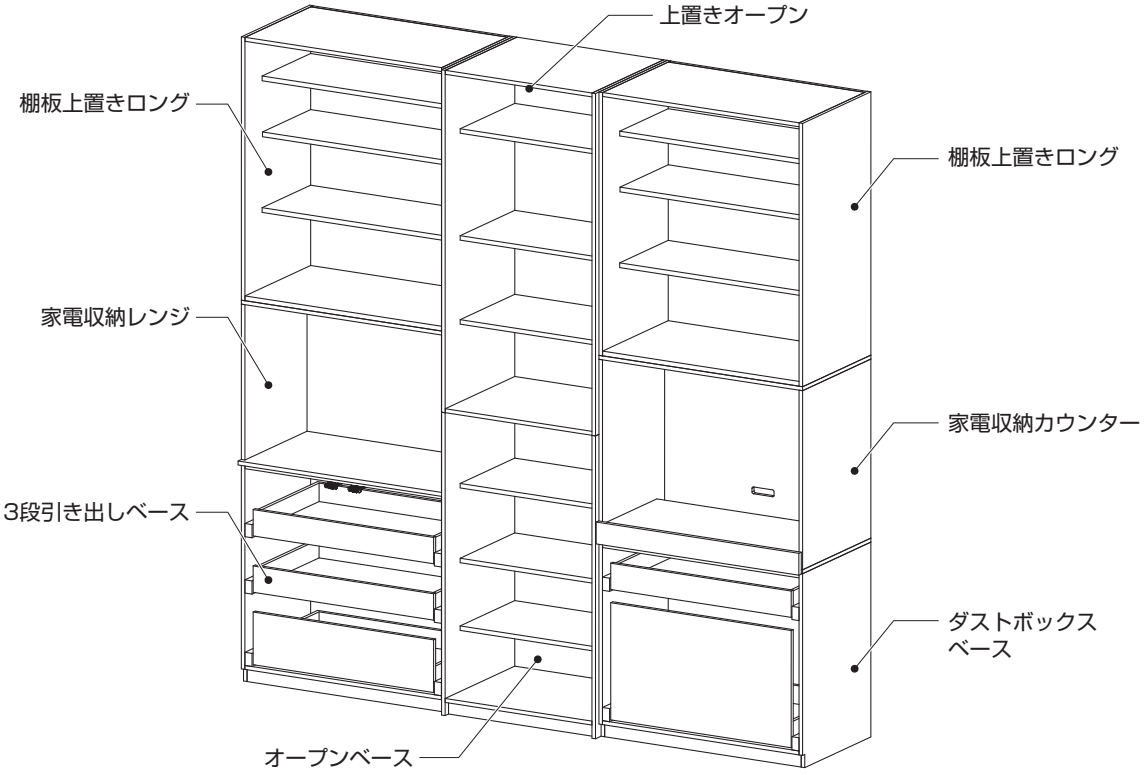
Ⅱ型プラン例・製品種類



アイランド型プラン例・製品外観図



アイランド型プラン例・製品種類



使用上の注意

⚠ 注 意

塩素系洗浄剤・漂白剤は、使ったり、近づけたりしない

水や湿気に反応して発生するガスが、ステンレス等の金属やゴムを腐食・劣化し漏水の原因になります。誤って使用したときは、すぐに水洗いをし、よく拭き取った後、乾拭きしてください。

汚れや塩分はすぐ洗い流す

放置すると汚れが落ちにくくなり、サビや変色の原因になります。
醤油・食酢・調味料・煮こぼれなどの汚れはすぐに洗い流し、乾拭きをしてください。

衝撃を与えない

鋭利な物や、鍋などの重い物を落とすと、へこみやキズになります

金属たわしや粒子の粗いクレンザー、金属磨き剤などを使用しない

金属たわし、ナイロンたわし、粒子の粗いクレンザーなどを使用しないでください。キズが付き、光沢がそこなわれる恐れがあります。

塩ビ系ゴム製品を放置しない

輪ゴム、ゴムベラなどを長時間放置すると変色の恐れがあります。
特に人工大理石の場合はご注意ください。

ぬれた鉄製品を放置しない

ぬれた包丁や缶詰、鉄製の鍋などを長時間放置すると、サビが付着（もらいサビ）します

熱い鍋などを直接置かない

沸騰したヤカンや熱したフライパンを置くときは、必ず鍋敷きをご使用ください。ヒビ割れ、変色、フクレの原因となります。
特に人工大理石の場合はご注意ください。

包丁などを直接使用しない

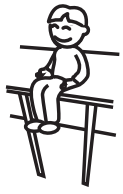
包丁やナイフなどの刃物を、直接当てると表面が傷つきます。
必ずまな板をご使用ください。

鍋などを引きずらない

鍋や大皿などを引きずると、表面が傷つきますので避けてください。

上に乗らない

事故や破損の原因になります。



殺菌灯などの紫外線照射器の光を直接照射しない

変色、劣化の恐れがあります。

カウンターの角にぶつかってケガをするおそれがあります

必要に応じてカウンターキャップを取り付けてください。

お手入れ方法

調味料や油などをこぼしたら…

すぐに拭き取ってください。その際、強くこすらないでください。

1日の終わりには…

水洗いをし、よく拭き取った後、乾拭きをしてください。

週に1度は…

台所用洗剤をスポンジに付けて汚れを落としてください。
水拭きでしっかり洗剤を取り除いた後、乾拭きをしてください。
水気を残すとサビや水あかが発生する恐れがあります。

床や壁などを汚したり、ぬらしてしまったら…

すぐに拭き取ってください。
放置するとシミや膨れなどが発生する恐れがあります。

くもりが出たら…

スポンジにクリームクレンザーを
付けて拭きます。
水拭きでしっかり洗剤を取り除いた後、
乾拭きをしてください。
水気を残すとサビや水あかが
発生する恐れがあります。
※メラミンの場合は、クリームクレンザーを
使用しないでください。

汚れが目立つ…

スポンジに台所用洗剤をつけて、
汚れを拭き取ってください。
落ちにくい場合は
クリームクレンザーを使い、
円を描くようにやさしく拭き、
その後、水拭きし、よく拭き取った後、
乾拭きをしてください。
※メラミンの場合は、クリームクレンザーを
使用しないでください。

サビが出た！！※ステンレスの場合

市販のメラミンフォームもしくは
クリームクレンザーなどで、
ていねいに、サビを落としてください。
サビを拭き取ったら、水で洗い流し、
よく拭き取った後、乾拭きをしてください。
水気を残すとサビや水あかが
発生する恐れがあります。

キズが付いた！！

小さな擦り傷は
クリームクレンザーで
磨いてください。
※メラミンの場合は、
クリームクレンザーを
使用しないでください。

お手入れ上の注意

⚠ 注 意

酸性、アルカリ性、塩素系洗剤、漂白剤、酸類などを使わない

塩素系洗剤、漂白剤、酸類などを
絶対使用しないでください。
サビの原因となります。
また、人工大理石にはアセトン、
シンナーなどの溶剤も絶対に
使用しないでください。
変色・変質する恐れがあります

金属たわしや粒子の粗いクレンザー、金属磨き剤などを使用しない

金属たわし、ナイロンたわし、粒子の粗い
クレンザーなどを使用しないでください。
キズが付き、光沢がそこなわれる
恐れがあります。

使用上の注意

⚠注 意

ぬれた鉄製品を放置しない

ぬれた包丁や缶詰などを
シンクに放置しないでください。
サビが移る（もらいサビ）恐れが
あります。

熱い物を流さない

高温のお湯などを直接シンクに流すと、
ゴム・プラスチック部分の変形・破損、
水漏れの原因となります。
水と一緒に流してください。

汚れや塩分は すぐ洗い流す

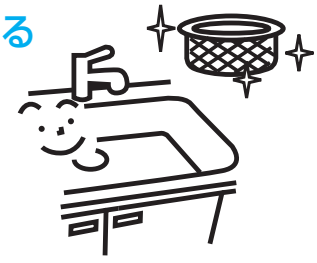
放置すると汚れが落ちにくくなり
サビや変色の原因になります。
醤油・食酢・調味料・煮こぼれ
などの汚れや塩分の強い物は
すぐに洗い流してください。

油類は流さない

環境保護のため油類は
流さないでください。
パイプ内壁に付着して、
パイプが詰まり漏水や、
水がこぼれる恐れがあります。

ゴミはこまめに捨てる

ゴミをためすぎると
臭気のもとになります。
水の流れも悪くなりますので、
ゴミはこまめに捨ててください。



結露に注意する

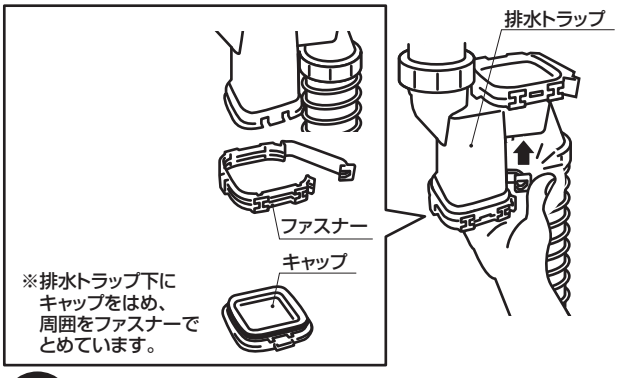
大量の氷や冷凍食品を直接
置き、長時間放置しないで
ください。
結露する恐れがあります。

排水セットに 衝撃を与えない

変形･破損、水漏れの原因となります。

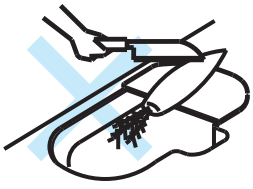
あけたキャップは確実に締める

排水の流れが悪い場合には、
排水トラップ下のキャップを外し、掃除してください。
また、キャップを元に戻すときには、
必ず、キャップの中に黒色のパッキンが付いているのを
確認してから確実に締めてください。
水漏れし、拡大損害の恐れがあります。



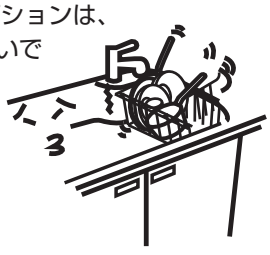
不安定な場所で使用しない

まな板は、不安定な場所での使用や、
シンクでの渡し掛け使用は
やめてください。
ケガや破損の原因になります。



転倒に注意する

水切りかごなどのシンクまわりオプションは、
載せすぎたり、1カ所に集中させないで
平均して載せてください。
バランスがくずれて、ケガをする
恐れがあります。

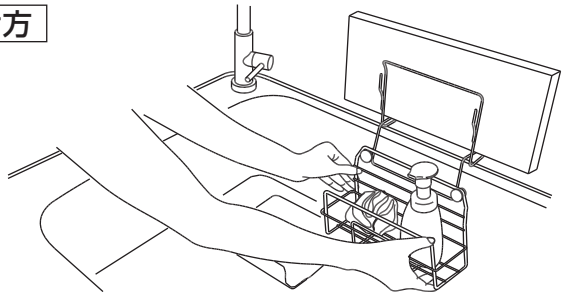


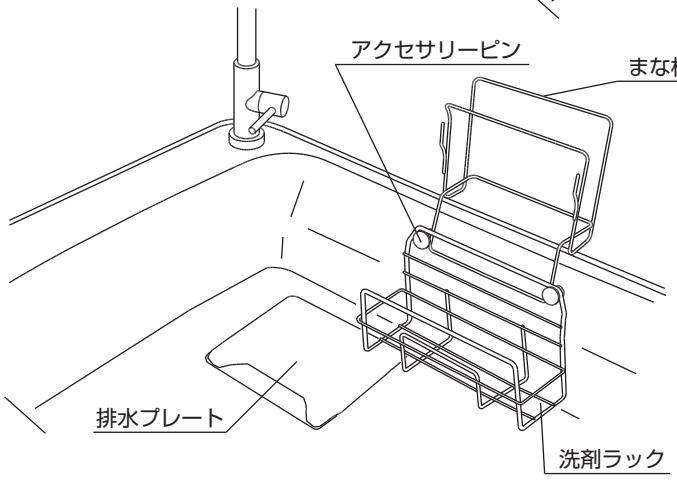
シンクの上に乗らない

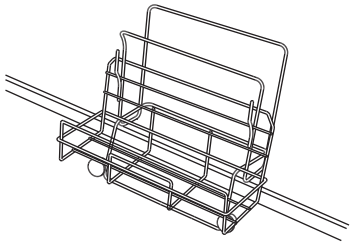
事故や破損の原因となります。

Vシンク（スリーレイヤードシンク）用洗剤ラック、まな板立ての取り付け

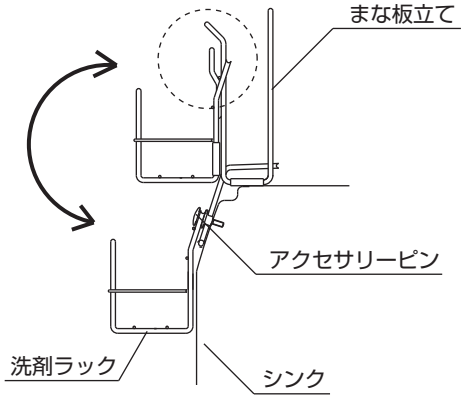
洗剤ラック・まな板立ての取り付け方

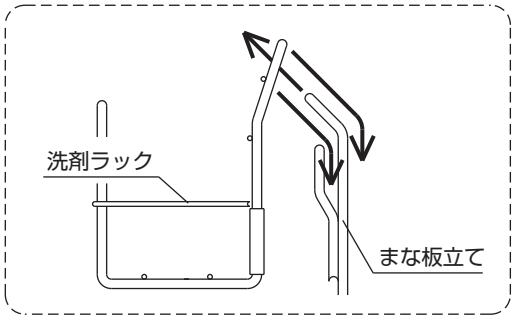






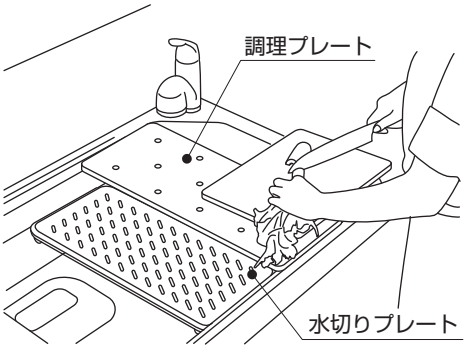
まな板立てに取り付けた状態





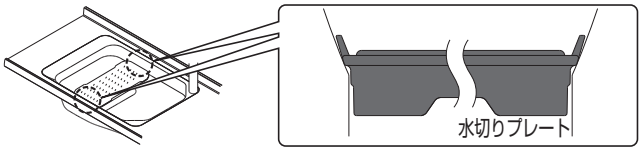
洗剤ラックはアクセサリーピンにも、まな板立てにも取り付けられます。まな板立てに取り付ける際は、上図を参考にワイヤーに掛けてください。

Vシンクオプション品の使い方



水切りプレート……
（耐荷重：5kg）

シンク内の中段を活かし、ワークトップより一段低く設置できる「水切りプレート」で野菜の水切りやパスタの湯切り時も水がこぼれず安心です。



＜設置について＞
- シンク内の傾斜部分に水切りプレートを設置してください。

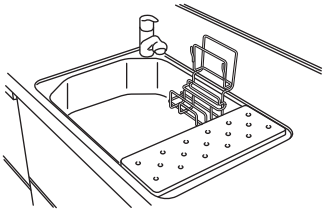
⚠
- しっかり固定できたか、確認してからご使用ください。不安定のまま使用すると落下するおそれがあります。
- 5kg以上、載せないでください。

⚠ 注 意

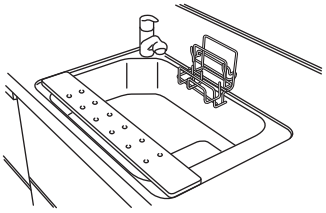
- ●お湯の入った鍋などを水切りプレートの上には置かないでください。
- ●水切りプレート上で包丁などの刃物類は使用しないでください。
- ●水切りプレート上でまな板を置いて作業をしないでください。ヤケドやケガをする恐れがあります。

調理プレート……
（耐荷重：20kg）

シンク上段に設置する調理プレート。まな板を使った切る作業や調理道具・食器等の水切りなど多目的に使えます。タテ置き型とヨコ置き型の2タイプがあります。



タテ置き型

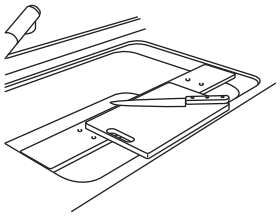


ヨコ置き型

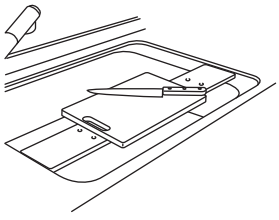
⚠ 注 意

- ●調理プレート上でまな板を使用する場合は、必ずワークトップにまな板がかかるように設置し、安定した状態で作業してください。
  不安定のまま使用すると落下しケガをする恐れがあります。

○



×



- ●硬い物や切りにくい物を切るときに無理な力を加えると、まな板や食材がすべることがありますのでご注意ください
  不安定な物を切る場合はワークトップの上で作業してください。
- ●表面を上にして使用してください。
  プレートがたわみ変形する恐れがあります。
- ●重い物をプレートに乗せるときは、偏りなく安定した状態になるようご注意ください。
  バランスが崩れて落下する恐れがあります。

お手入れ方法

シンク

1日の終わりには…

水拭きをした後、よく拭き取った後、乾拭きをしてください。

ちょっとした汚れは…

スポンジに台所用洗剤を付け、
洗ってください。
その後、水で洗い流し、よく拭き取った後、
乾拭きをしてください。
水気を残すとサビや水あかが
発生する恐れがあります。

ザラつきが気になる…

水を少し含ませたスポンジに
クリームクレンザーを付け、
汚れを落としてください。
水で洗い流し、よく拭き取った後、
乾拭きをしてください。
水気を残すとサビや水あかが
発生する恐れがあります。
扉やキャビネットに飛び散らない
ように使用してください。

サビが出た !!

市販のメラミンフォームもしくは
クリームクレンザーなどで、
ていねいに、サビを落としてください。
サビを拭き取ったら、水で洗い流し、
よく拭き取った後、乾拭きをしてください。
水気を残すとサビや水あかが
発生する恐れがあります。
扉やキャビネットに飛び散らない
ように使用してください。

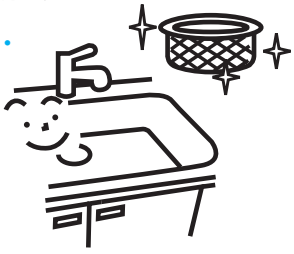
排水トラップ

1日の終わりには…

ゴミかごにたまったゴミをきれいに処理してください。
また、ゴミかごのまわりのゴミも除去してください。

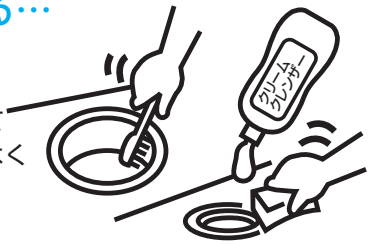
ちょっとした汚れは…

スポンジに台所用洗剤を付けて
汚れを落としてください。
特に油を使う料理をした日は
汚れやすいので念入りに
行ってください。



ヌメリが気になる…

スポンジや歯ブラシに
クリームクレンザーを
付けて、ヌメリを落として
ください。その後、水でよく
洗い流してください。



3～6カ月に1度程度

排水トラップの汚れを取るために、市販の
パイプクリーナーをご使用ください。

排水の流れが悪い…

排水トラップ部に詰まっている野菜クズや
汚れ、ゴミかごの目詰まりを取り除きます。
それでも流れが悪い場合は、
パイプクリーナーをご使用ください。

※市販のパイプクリーナーをご使用の際は、使用方法をよく読んでから使用してください。ステンレス部分にはパイプクリーナーを付着させないでください。付着するとサビの原因になりますので付着した場合は、すぐに水洗いして、拭き取ってください。また、パイプ部分にパイプクリーナーを付着させたままにしないでください。

お手入れ上の注意

⚠ 注 意

ヌメリ取り剤などを使わない

市販のヌメリ取り剤は、
塩素ガスを発生させ、シンクや周辺の
ステンレスが錆びる恐れがありますの
で使用しないでください。

金属たわしや粒子の粗いクレンザー、金属磨き剤などを使用しない

金属たわし、ナイロンたわし、粒子の粗い
クレンザー類を、使用しないでください。
表面が傷つき、
光沢や表面コートが
そこなわれる恐れが
あります。

塩素系洗剤、漂白剤、酸類などを使わない

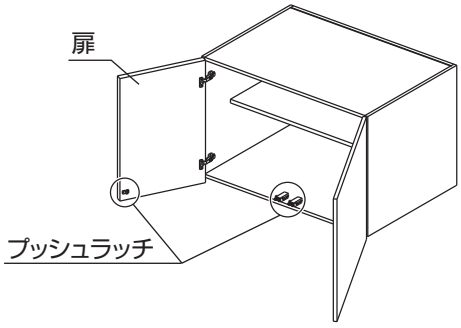
塩素系洗剤、漂白剤、酸類などを絶対
使用しないでください。
サビの原因となります。

5 キャビネット（キャビネット・引き出し）

使い方

プッシュラッチの周辺部を押して扉を開閉してください

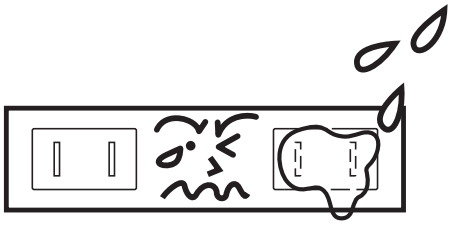
プッシュラッチはキャビネットの上部に取り付いているものと下部に付いているものがあります。



⚠ 警告

コンセントをぬらさない

感電や火災の原因になることがあります。



使用上の注意

⚠ 注意

扉や引き出し、取っ手に乗らない

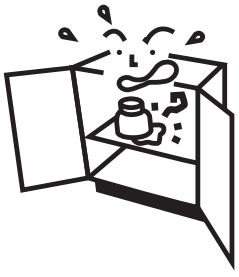
扉や引き出し、取っ手に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。
蝶番やレールがこわれると落下してケガをする恐れがあります。
特に、お子様にはご注意ください。

汚れたままにしない

油・調味料など食品の汚れは、サビや腐食、カビの原因となりますので早めに拭き取ってください。

ぬれたままにしない

木部が水を含み傷んだり、レールや蝶番が錆びる恐れがありますので、しっかり拭き取ってください。

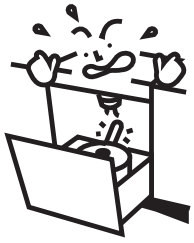


扉を大きく開けすぎない

扉がはずれて、ケガをする恐れがあります。

排水トラップ前に大きな物を収納しない

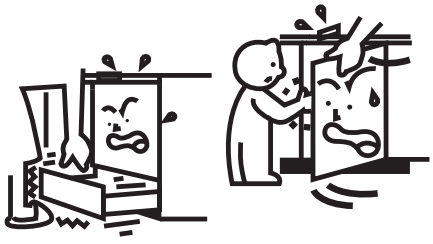
扉を閉めたときに排水トラップにぶつかり、キズが付いて水漏れする恐れがあります。
鍋などは取っ手の向きにご注意ください。
引き出し背板に取り付けられている配管ヨケの上に物を置かないでください。



［シンク用ベースキャビネット］

引き出しや扉の開閉に注意

扉・蝶番や引き出しで、手足や指を挟まないように気をつけて開閉してください。
ケガをする恐れがあります。
特に、お子様にはご注意ください。

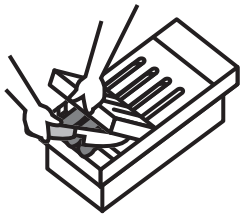


使用上の注意

⚠注 意

包丁差し・包丁トレーの使用について

包丁差し・包丁トレーはシンク前の
キャビネット内に設置されています。
包丁を差し込む溝の中に、包丁の刃を
確実に納めてください。
お子様がさわらないように
ご注意ください。
ケガをする恐れがあります。



重い物を載せない

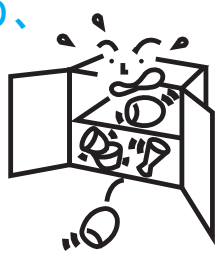
変形や破損の原因となります。
載せすぎたり、1カ所に集中させないで
平均して載せてください。
各部材の耐荷重については
17ページを参照ください。
破損してケガの恐れがあります。

扉が完全に閉まらないような収納はしない

収納物が落下しケガをする
恐れがあります。

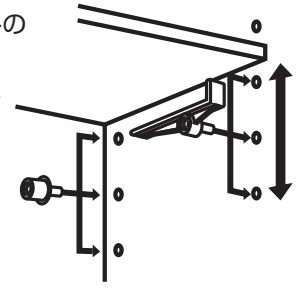
転がりやすい物を入れたり、不安定な積み方をしない

収納物が転がり落ちてケガをしたり、
破損の原因となります。



棚受けダボはしっかり差し込む

棚板は可動式です。
棚板を外し、棚受けダボをお好みの
位置に移動してください。
棚受けダボはすき間のないように
奥まで差し込んでください。
棚板が落下して、ケガをする
恐れがあります。

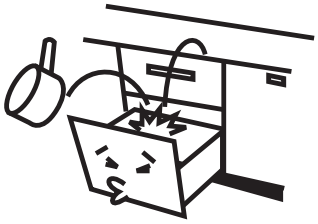


ガードバーを持って引き出しを外さない

ガードバーが破損したり、外れて
引き出しが落下しケガをする
恐れがあります。

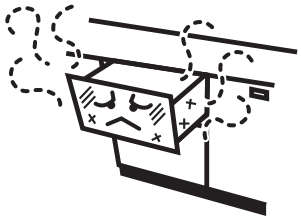
キャビネットにかたい物を落とさない、ぶつけない

キズがついたり、破損したり
する恐れがあります。



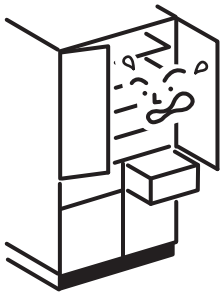
食器洗い乾燥機を運転中に、上の引き出しを開けたままにしない

蒸気などで引き出しが傷む
恐れがあります。



上下の扉や引き出しを同時に開けない

扉と引き出しを同時にあけると扉が
干渉し、キズが付く場合があります。



食品などでキャビネットを擦らない

摩擦により光沢が生じ、表面の意匠性が損なわれる恐れが
あります。

使用上の注意

⚠注 意

プッシュオープン扉を無理に開けたり、閉めたりしない

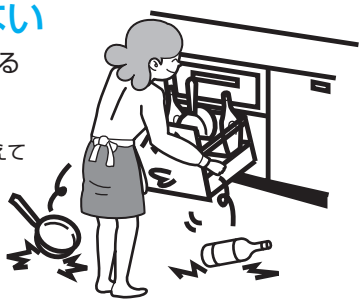
扉は必ず扉を押して開けてください。無理に開けようとすると部品の破損や扉の開閉に支障をきたす恐れがあります。
扉を閉める時は手を添えて閉まったのを確かめてください。
また、強い力で押し込んだり乱暴に扱わないでください。

スライドカウンターには熱い鍋、重量物、包丁などを載せない

やけど・ケガの恐れがあります。

収納物が入ったまま引き出しを外さない

収納物が落下してケガをする恐れがあります。
※勢いよく引き出しを引くと、引き出しがストッパーを乗り越えて外れる場合がありますのでご注意ください。

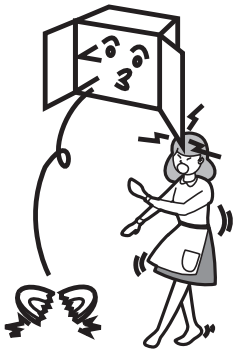


引き出しを開閉する際は、扉が完全に開いた状態を確認してください

扉と引き出しが干渉し、キズが付く恐れがあります。

扉を開けたままにしない

頭をぶつけてケガをしたり、収納物が落下して、破損やケガをする恐れがあります。



収納物が入ったまま引き出しを外さない

収納物が落下してケガをする恐れがあります。

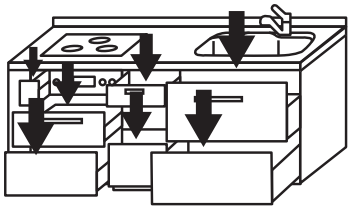
使用上の注意

⚠注 意

重量規定を守る

重い物を載せすぎたり、1ヶ所に集中して置かないでください。特にワークトップ／ミドルカウンターの端部については、偏った荷重がかかると変形や破損が生じるおそれがあります。

- ●引き出し
  フルオープンレールタイプ… 耐荷重は20kgです
- ●キャビネット
  棚板、底板…耐荷重は20kgです
- ●モバイルラック小引き出し
  …耐荷重は3kgです
- ●カウンター
  …耐荷重は30kgです
- ●Vシンク用調理プレート
  …耐荷重は20kgです
- ●Vシンク用水切りプレート、サポートメッシュ
  …耐荷重は5kgです
- ●ワークトップ・ミドルカウンター端部
  …耐荷重は5kgです
- ●カップボード
  スライドカウンター
  …耐荷重は15kgです



▼重量のめやす

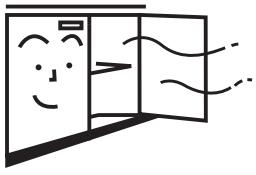
ざるセット（大・中・小）	約0.7kg	両手鍋（大）	約2.0kg	大皿（直径35cm）	約1.0kg
ボウルセット（大・中・小）	約0.8kg	両手鍋（中）	約1.5kg	中皿（直径25cm）	約0.5kg
寸胴鍋	約3.5kg	フライパン（直径25cm）	約1.0kg	小皿（直径16cm）	約0.2kg

お手入れ方法

- ●中の物を取り出して、掃除機かほうきを使って隅々までゴミを取ります。
- ●薄めて作った台所用洗剤液を布に含ませ、固く絞り、軽く拭き取ってください。
  その後、水拭きで洗剤分が残らないように
  しっかり拭き取り、最後に乾拭きをしてください。
  ※油・調味料・食品の汚れを放置していると、
  サビや腐食、カビの原因になりますので早めに
  拭き取ってください。

湿気・臭気対策

湿気がこもりやすい場所なので、
時々扉を開けて、換気をよくしましょう。
消毒用エタノールを含んだ、
固く絞った布で拭いてください。



お手入れ上の注意

⚠注 意

ぬれたままにしない

湿気がこもるとカビや臭気の原因となります。
また、引き出しレールや蝶番などの
サビの原因にもなります。
水拭きした後は必ず乾拭きし、
乾くまで扉は開けておきましょう。

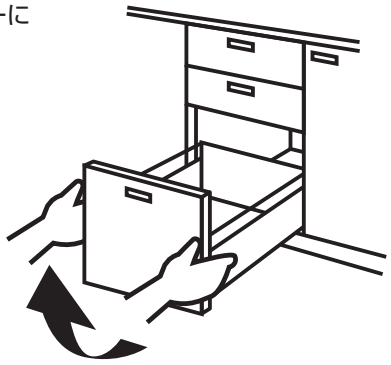
使用してはいけないもの

- ●アセトン、シンナーなどの溶剤
- ●研磨剤の入った洗剤などは
  表面を傷めます。

引き出しの調整方法

外し方

引き出しをストッパーに当たるまで引き、持ち上げるように引き上げてください。



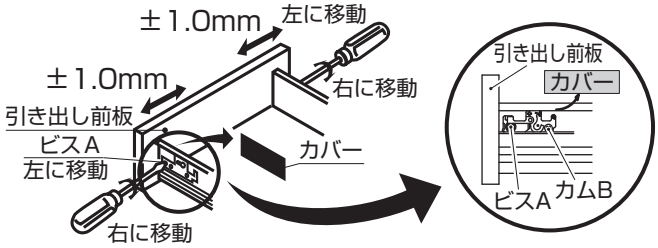
取り付け方

引き出しを持ち上げ、ストッパーの奥に下ろすようにして入れてください。
フルオープンレールタイプの場合、レールの上に引き出しを正しく載せ（カチャという音がします）、入れてください。
引き出して、ストッパーがかかることを確認してください。

フルオープンレールタイプ

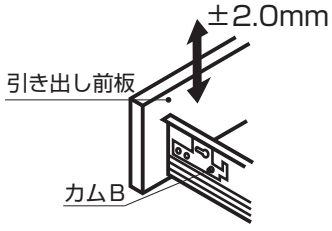
目地が揃っていない…（左右調整）

①カバーを外します。
②ビス Aを回して前板の左右位置を調整します。



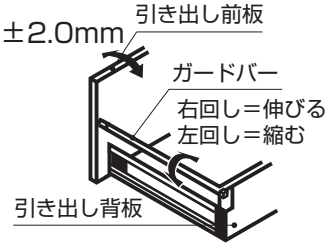
上下が揃っていない…（上下調整）

カム Bを回して前板の上下の位置を調整します。



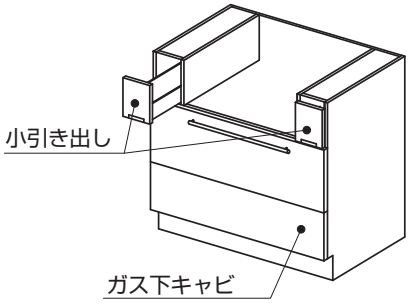
しっかり閉まらない…（前後調整）

ガードバーを回して傾きを調整します。

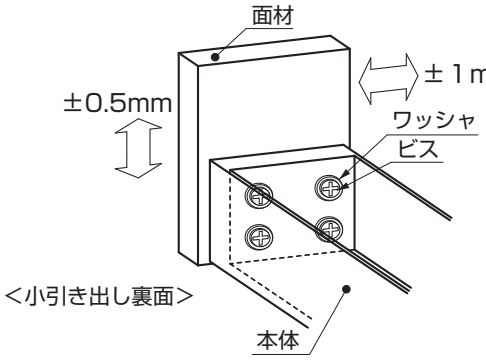


モバイルラック付き小引き出し面材の調整方法

①キャビネットから小引き出しを
取り出します。



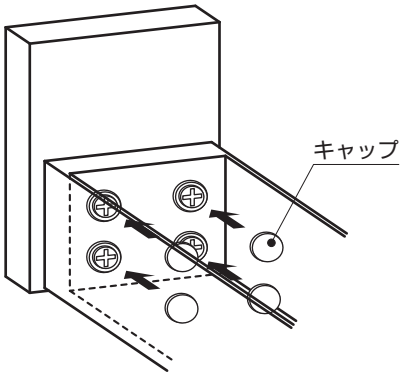
②小引き出し本体と面材を固定しているビスを緩め、
面材の位置を調整し、ビスを締め直します。



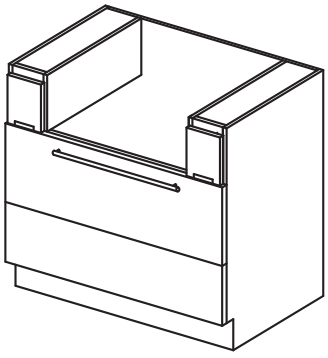
⚠注意

強く締め過ぎると本体が破損する恐れがあります。電動ドライバーは使用しないでください。

③キャップを取り付けます。



④キャビネットに小引き出しを取り付けます。



6 扉・パネル

使用上の注意

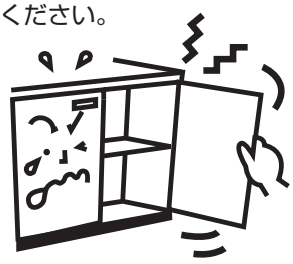
⚠注 意

ぬれたり汚れたままにしない

水分でぬれたままにすると
表面材がはがれたり、扉が膨れたり
する原因になります。
また、油・調味料など食品の汚れを
放置すると、シミなどの原因と
なります。
すぐにしっかりと拭き取って
ください。

やさしく開閉する

扉は軽く開閉できますので、
あまり強い力を入れずに開閉してください。
扉を開閉する時は周囲の物に
当てないように気を付けて
ください。



ぶら下がったり、乗ったりしない

蝶番やレールがこわれると落下して
ケガをする恐れがあります。
特に、お子様にはご注意ください。

扉に鋭利なものをぶつけない

キズがついたり、破損したりする恐れがあります。

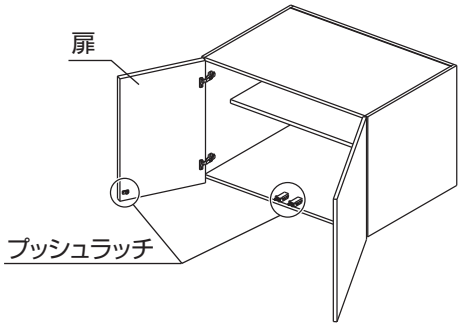
シールやテープ類を貼らない

粘着剤で表面が侵されます。
また、はがした後、汚れが残る
恐れがありますので貼らないで
ください。

使い方

プッシュラッチの周辺部を押して扉を開閉してください

プッシュラッチはキャビネットの上部に取り付いているものと
下部に付いているものがあります。



お手入れ方法

ちょっとした汚れは…

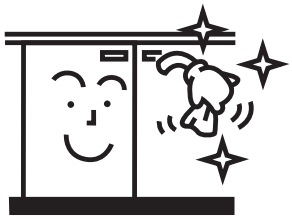
柔らかい布で乾拭きしてください。

汚れが気になる…

固く絞った布で拭いた後、乾拭きします。

しつこい汚れは…

中性台所用洗剤液をぬるま湯で薄めます。
柔らかい布に含ませ、目立たない部分で、
異常が無いことを確認してから汚れている部分を
拭いてください。
その後、水拭きで洗剤分が残らないように
しっかり拭き取り、最後に乾拭きをしてください。
※ご使用前に必ず洗剤の裏面に書かれている
　注意事項を確認してから、ご使用してください。



お手入れ上の注意

⚠注 意

洗剤を拭き残さない

中性台所用洗剤が扉に付着したまま放置されると、表面がはがれたり、扉が膨れたりする原因となります。付着した洗剤は水拭きで洗剤分が残らないようにしっかり拭き取り、最後に乾拭きをしてください。

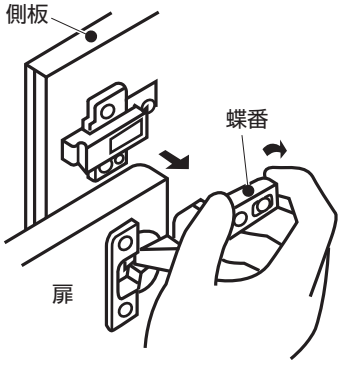
塩素系洗剤・漂白剤・溶剤などを使わない

塩素系洗剤・漂白剤、シンナーなどの溶剤、研磨剤の入った洗剤は使用しないでください。
変色や光沢をなくしたり表面を傷めます。

調整方法

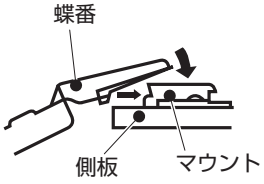
扉の外し方

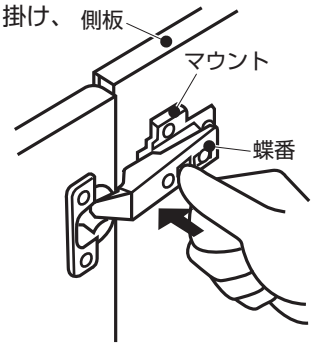
扉をしっかり支えながら、蝶番の後側のツメを引いてください。
扉が外れます。



扉の取り付け方

蝶番をマウントの手前に引っ掛け、後側を押し込んでください。





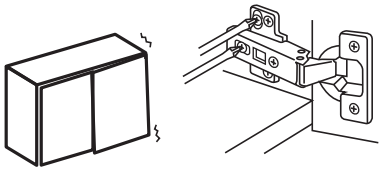
扉の調整

扉に段違いが生じたり、ガタついたら、図の要領で調整してください。

※Ⓐ Ⓑ Ⓒ 以外は固定ビスになります。

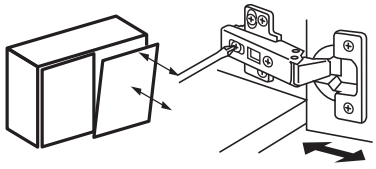
ガタついている…

Ⓑ・Ⓒ を固く締め付けます。
緩めて前後調整をし、締めなおします。
また、Ⓐ Ⓑ Ⓒ 以外の固定ビスもしっかり固定してください。



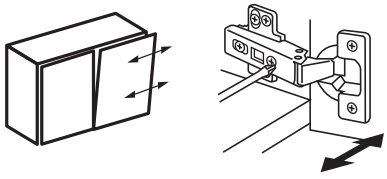
しっかり閉まらない…（前後調整）

扉を取り付けた後 Ⓑ を緩めて前後調整をし、締めなおします。



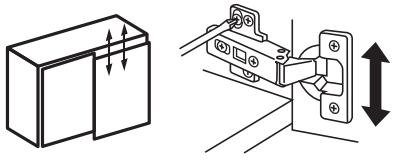
目地が揃っていない…（左右調整）

Ⓑ の固定ビスを締めたまま
Ⓐ を回して左右調整をします。



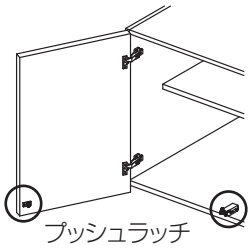
上下が揃っていない…（上下調整）

Ⓒ を緩めて扉ごと上下調整したあと、締めなおします。



調整方法

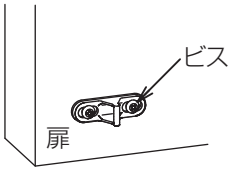
プッシュラッチの調整　※扉自体がずれていたり、ラッチの調整範囲を越えている場合は扉の調整を行ってください。



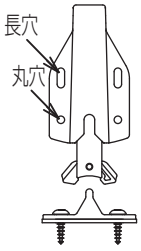
※キャビネットの上部に取り付いているものと、下部に付いているものがあります。

ツメの調整（上下調整）

一旦ビスを外して位置を合わせ、締めなおします。



ラッチ本体の調整（前後調整）



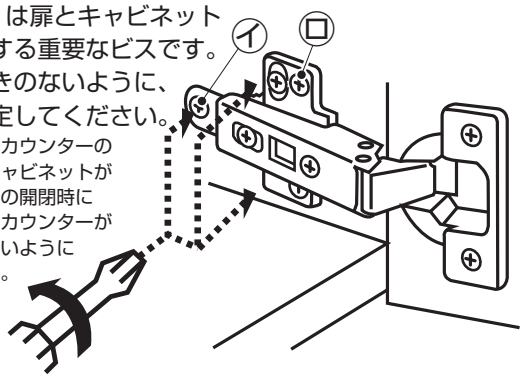
①丸穴のビス２ヶ所を外します。
②長穴のビス２ヶ所を緩め、前後調整をしてビスを締めなおします。
③丸穴のビス２ヶ所を締めなおします。

調整上のお願い

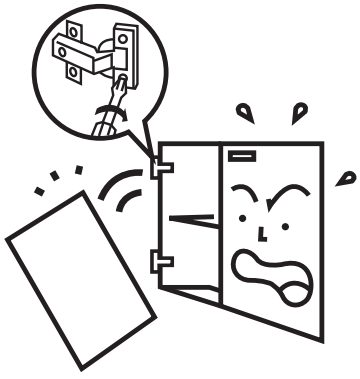
⚠ 注 意

ビス ㋑・㋺ は扉とキャビネット本体を固定する重要なビスです。扉のガタつきのないように、しっかり固定してください。

※カップボードカウンターの隣にトールキャビネットがくる場合は扉の開閉時にカップボードカウンターが扉に接触しないように注意ください。



上記 Ⓐ Ⓑ Ⓒ 以外のビスは絶対に緩めないでください。緩めるとビスの保持力がなくなり、扉が落下してケガをする恐れがあります。



⚠警告

コンセントをぬらさない

感電や火災の原因になることがあります。

スライドカウンター上で高温になるものは使用しない

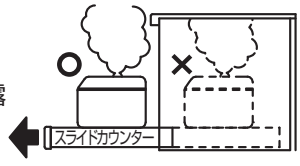
トースター、魚焼き器、ホットプレートなど使用時に高温になるものをスライドカウンター上で使用しないでください。
火災の恐れがあります。

使用上の注意

⚠注意

スライドカウンターで炊飯器等をご使用の際はスライドカウンターを必ず引き出してください

庫内に蒸気がこもり結露する恐れがあります。

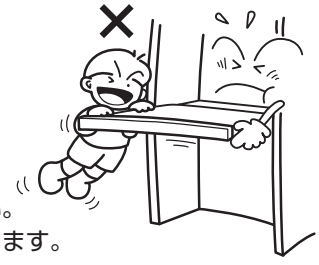


電源コンセントの表示容量（ワット）をこえる電気器具は使わない

容量をこえて使用すると電源コンセント部が発熱し、火災の恐れがあります。

のったりしない

スライド棚を引き出した状態のときは、スライド棚に寄りかかったり、登ったり、ぶらさがったり、腰かけたり、ぶつからないようにご注意ください。
ケガをする恐れがあります。



調理汚れや水滴は速やかに拭き取ってください

スライドカウンターには熱い鍋、重量物、包丁などを載せない

やけど・ケガの恐れがあります。

スライドカウンターを引き出す際は、ゆっくりと引く

勢いよく引くと、電化製品などが転倒する恐れがあります。

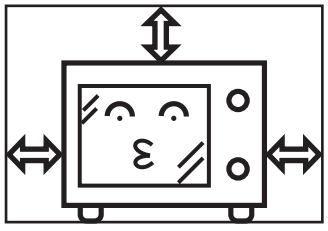
スライドカウンターをしまう際は、電源コードを挟まないように注意する

断線し火災の原因になることがあります。

電子レンジなどを置く場合は、天面、後面、両側面に器具指定の空間を設けてください。

離隔距離がないと、給排気が充分にできず、加熱して発火する恐れや故障の原因になります。
それぞれの機器に添付されている取扱説明書および本体の注意表示を必ずご覧ください。

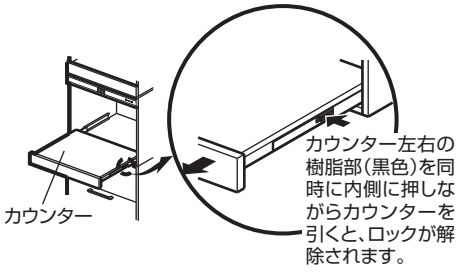
離隔距離を充分取ってください。



外し方・取り付け方

スライドカウンターは取り外しができます

サイドレールの樹脂製ストッパーを左右共に押さえながら引き出せば簡単に外れます。
取り付ける場合は、サイドレールに差し込んでスライドカウンターを奥まで押し込んでください。
確実に収まっているかご確認のうえご使用ください。
スライドカウンターが重いため、落ちると危険ですのでご注意ください。



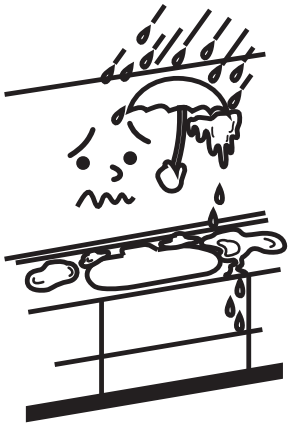
8 キッチンパネル

使用上の注意

⚠注 意

常時水がかかる、または溜まるような環境下での使用はしない

フクレ、サビの原因になります。



9 こんなときには？！

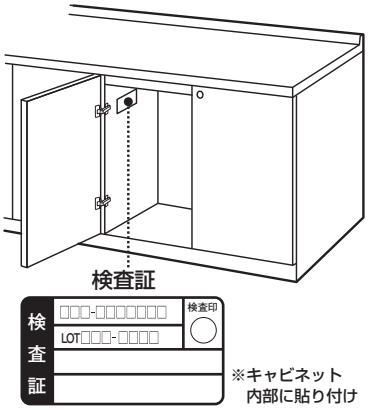
ガスや水道の元栓が閉まっていると、設備機器の故障と間違えることがあります。修理を依頼される前に以下のことをお調べください。

このようなとき	よくある例	ここをお調べください
お湯の出が悪い	●止水栓が締められている。 ●吐水口に水あかがたまっている。 ●水圧が低い。 ※不明な名称については水栓金具の説明書をご覧ください。	●止水栓を全開にしてください。 ●吐水口を掃除してください。 ●止水栓で調整してください。
水漏れがする	●止水栓の締め付け不足。 ●止水栓のパッキン不良。 ●水栓金具の取り付けナットの緩み。 ●ゴミ収納器の締め付け不良。 ※不明な名称については水栓金具の説明書をご覧ください。	●充分に締めてください。 ●パッキンを交換してください。 ●取り付けナットを締めてください。 ●充分に締めてください。
下水の臭いがする	●排水トラップの封水不良。	●排水トラップ部を点検してください。
ガスが点火しない	●電池の消耗。 ●元栓が閉まっている。 ●点火プラグが汚れている。 ※不明な名称についてはガス機器の説明書をご覧ください。	●電池を交換してください。 ●元栓を開けてください。 ●点火プラグを掃除してください。
IHが作動しない	●キーを押してもヒーターが入らない。 ●ヒーターが点滅後、消灯する。	●電源を入れてください。 ●鍋をヒーターの中央に置いてください。
扉がガタつく	●蝶番のビスが緩んでいる。 ●蝶番のビスが空回りをする。	●ビスを締めなおしてください。(21ページ参照) 強く締めすぎないようにしてください。 ●ビス穴へマッチ棒やつま楊枝を接着剤と共に埋め、再度ビスを締めてください。
扉がギーギーと鳴る	●潤滑油不足。	●蝶番の軸へミシン油を差してください。 差し過ぎると他のトラブルとなりますのでご注意ください。
扉が下がる	●ビスが緩んでいる。	●蝶番マウントの上下調整ビスで再調整し、ビスを締めなおしてください。(21ページ参照) 強く締めすぎないようにしてください。

10 アフターサービス

■ 異常が発生した場合の使用はやめてください。「こんなときには？！」を見て、もう一度ご確認ください。それでも不都合な場合は被害拡大しないよう、水栓金具・食器洗い乾燥機の場合は止水栓、ガス機器の場合は元栓、電気機器の場合は電源を OFFにしてからアフターサービスを依頼してください。

■ アフターサービスを依頼される場合や、不明な点のご相談は、お買い上げいただいた工務店へお問合せください。



●加熱機器、食器洗い乾燥機、水栓金具の修理は本体もしくは取扱説明書に表示している「フリーダイヤル」をご利用ください。

ご連絡していただきたい内容	
品　　名	システムキッチン
型　　名	
販売店様名	
引き渡し日	年　月　日
故障の状況	
ご　住　所	
お　名　前	
電話番号	
訪問希望日	

※おことわり
●製品の仕様や掲載内容は予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。
●扉など天然の材料を使用しているものについては、同色･同柄の同一部材を供給することができませんので、その節にはご容赦願います。
●保証内容、期間については、裏表紙に記載されている保証書をご確認ください。

オプション品・交換部品など

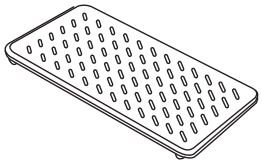
オプション品・交換部品はお買い上げ販売店にお問い合わせください。
また、弊社のウェブ販売サイト「永大産業 web shop」でもお買い求めいただけます。
http://www.rakuten.ne.jp/gold/eidai-web/
※おことわり
　取り付け、交換の際に特別な資格や技能が必要なものや安全にかかわるものは取り扱っておりません。
＜オプション品・交換部品の一例＞

排水プレート

シンク・ゴミかご

止水フタ

水切りプレート



メモ

保証書

保 証 書

品 名　　品 番

★お客様のお名前

様

★ご住所　〒　　★電話番号（　　）　　－

保証期間

※引き渡し日　　年　　月　　日から

2年間

（ただし、組み込み機器は別途添付されている保証書によります。）

取り扱い販売店名、住所、電話番号

★印、※印欄に記入のない場合は無効となりますから必ずご確認ください。

記

この保証書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。
引き渡し日から上記保証期間中に、対象製品において取扱説明書、本体貼り付けラベルなどの注意内容に従い、使用及び維持管理を行っていた状態で自然不具合が発生した場合、本書記載内容にもとづき、無料修理いたしますので、お取り扱いの施工店または販売店に修理をご依頼ください。また修理に際して本書をご提示ください。

●保証期間内でも次のような場合には有料修理となります。
1. 本来の使用目的以外の用途に使用された場合の不具合
2. 車両・船舶、業務用、病院や施設など、一般住宅以外に使用した場合の不具合
3. 当社が定める取付説明書等に基づかない取り付け、専門業者以外による移動・分解などに起因する不具合
4. 使用上の不注意・故意・過失または不当な修理や改造による不具合
5. 使用者または第三者の不適切な使用または維持管理に起因する不具合
6. 建築躯体、関連設備工事など製品以外の不具合に起因する不具合
7. 経年変化または使用に伴う磨耗、さび、かび、変質、変色、反りなどの不具合
8. 消耗部品（電球やパッキンやシーリングなど）の取り替え及び保守
9. 指定外の消耗品の設置または使用に起因する故障及び損傷
10. 海岸付近、温泉地などの地域における腐食性の空気環境に起因する不具合
11. 漏水、結露等による長時間高湿度状態で放置された場合などの室内環境や自然現象に起因する不具合
12. 犬、猫、鳥、鼠などの小動物や昆虫などの行為に起因する不具合
13. 納入後、1年以上経過した場合の虫害
14. 火災・爆発などの事故、落雷・凍結・地震・噴火・洪水・津波などの天災地変及び公害、塩害、ガス害、異状電圧、使用電源 (電圧、周波数)などによる不具合
15. 修理の依頼を受けた本製品の点検・診断を実施した結果、不具合の存在を確認できなかった場合
16. 部品交換を伴わない調整、その他手直し修理、保守、点検、検査、作業
17. 製造時に実用化されていた技術では予測不可能な現象、またはこれが原因で生じた不具合
18. メーカーがリコール宣言を行った後の、リコール部品及びリコール部位に起因する本製品の故障及び損害
19. 取り付け完了時に申し出がなかったキズなどの不具合
20. 取り付け後の移設等に起因する故障及び損傷
21. 砂やごみかみによる不具合及びパッキン・シーリング等消耗品の損傷
22. 戦争、暴動等の破壊行為または犯罪等の不法行為に起因する破損や不具合
23. 国または公共団体の公権力の行使に起因する故障及び損害
24. その他、当該不具合の発生が当社の責によらない場合

●離島または離島に準じる遠隔地への出張修理を行なった場合には、出張に要する実費を申し受けます。
●ご転居の場合には事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
●本書は日本国内においてのみ有効です。
Effective only in Japan
●本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。
●キッチンに組み込まれる設備機器などについては、それぞれに添付されている保証書の内容をご確認ください。

●この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買上げいただいた販売店に直接お問い合わせください。

永大産業株式会社
http://www.eidai.com
住設事業部

T160Jhi1804hpHP第1版